

鳥海高原・今後の課題と展望

ふわふわ遊具 〈5月21日〉

午前の活動

活動目標
 「子どもたちに笑顔で帰ってもらう」

活動内容

当初予定していた仕事だけでなく、ほかの人の仕事をカバーし合うことで臨機応変に対応でき、より多くの人に来てもらうことができた。子どもたちがみんな笑顔で帰ってくれたことが仕事の励みになった。



反省点

子どもと一緒に遊具の中で遊ぶ役が思った以上にハードで2人では少なかった。3人に増やすことで解決した。



午後の活動

活動目標
 「笑顔で子どもに接する!!」

活動内容

午後の部では、暑いにも関わらず多くの子どもたちが来てくれた。少ない人員の中で、チームワークを生かし、スムーズな運営を行うことができた。お子さんが「また来ちゃった!」と笑顔で言ってくれたことがうれしかった。

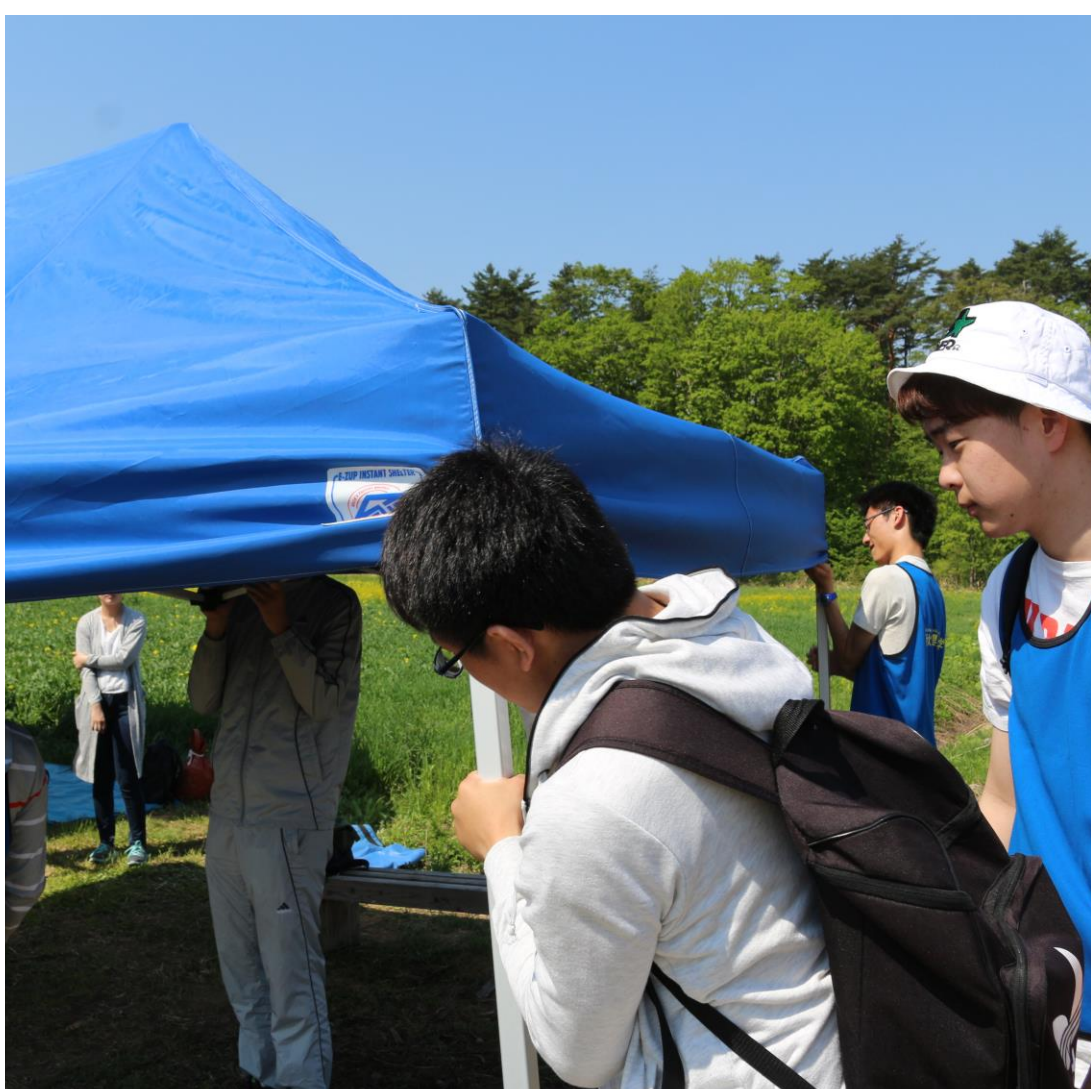


反省点

保護者の方が同伴する際の料金について聞かれることが多かった。あらかじめ明記しておくべきだったと思われる。



メンバーの交流



菜の花まつりを通して、普段はなかなか関わる機会の少ない他学科のメンバー同士での交流も広がった。菜の花まつりでは、様々なハプニングもあった。暑さにやられそうになったり、バスに乗り遅れて自転車で鳥海高原まで来たメンバーがいたりしたが、グループのメンバー間で支え合って無事に菜の花まつり2日目を終えることができた。

鳥海高原の今後

発展の可能性

今回の菜の花まつりでは、予想以上に多くの観光客が参加してくれた。しかし、参加者に話を聴いてみると比較的近い地域から来ている人が多かった。遠隔地からの観光客を誘致することで、地域経済の発展につながるのではないだろうか。



観光資源としての利用価値

鳥海山と一面に広がる菜の花畑の雄大な自然は鳥海高原が誇る観光資源である。そこで、この自然を生かすために公園や牧場などで直に自然と触れ合ってもらったり、気球を打ち上げ美しい景色を堪能してもらったりすることで、観光資源としての利用価値をさらに高めることができるのではないだろうか。

改善すべき課題

改善点	改善案
アクセスが不便	最寄り駅からのシャトルバス運行など
開花時期の予測	開花時期のずれに対応できるステージイベントなどの充実
周辺環境	周辺の環境を生かしたイベント運営



ふわふわ遊具「ピッコマくん」

まとめ 「菜の花まつりで学んだこと」



菜の花まつりでは、接客という貴重な体験をすることができた。初めに予定していた役割で仕事を進めることはできなかったが、他の人の仕事をカバーすることでスムーズに行うことができた。また、お客さんやメンバーとの関わりの中でコミュニケーション能力を高めることができた。このボランティアで学んだことは将来どこかで役に立つであろう。